

中電シーティーアイ × アクセンチュア CTI改革

VIDEO TRANSCRIPT

渡邊 嘉英

アクセンチュア株式会社

素材・エネルギー本部

電力系のIT子会社における、例を見ない大改革が始まります。

三澤 太輔 様

株式会社中電シーティーアイ

代表取締役 社長執行役員

中電CTIは、中部電力グループ唯一のIT企業として、現在、グループ各社で推進しているDX戦略において、プロジェクトの牽引役を期待されています。

DX戦略の推進に伴い、これまで経験したことがないほどのIT業務量が見込まれ、従来の体制や仕事のやり方では、とうてい大きな波を乗り越えることはできないと考えています。

CTI改革にはIT技術者の「質を高める」ということと「量を増やす」という2つの大きな狙いがあります。アクセンチュアに当社の仕事の一部をシフトすることで余力を生み、当社社員をスペシャリストとして育成することでその狙いを達成しようとしています。

鈴木 涼介 様

株式会社中電シーティーアイ 技術本部

エネルギーITサービスリジョン

配電ソリューション部

CTI改革推進リーダーとは、各部門の代表者として、CTI改革を「全社一丸となって進めるため」に選出された存在です。

社員のマインドチェンジを目的に、改革についての情報を社内に浸透させつつ現場の声を上にあげ、戦略部署と製造部署の架け橋になることが私のミッションです。

まずは自分自身がCTI改革の理解を進められるよう常に情報をアップデートすることを心掛け、身近なメンバーに共有して徐々に浸透させていくよう取り組んでいます。

CTI改革の必要性が全社的に浸透してきた中、プロジェクト管理能力やパッケージ製品の導入能力などの向上を目的としたアクセンチュア主催の学習機会を活用し、会社からも社員の成長を後押ししていただいています。

三輪 亜凜 様

株式会社中電シーティーアイ 技術本部

エネルギーITサービスリジョン

配電ソリューション部

PMO支援の役割として、毎週行われる進捗会議の各種データの集計、プロジェクトに関わる会議の進行・議事、メンバー管理などを担当しています。

PMとしての役割やマインド・自信を身に着けるためにワークショップに参加しました。

中電グループのDXプロジェクトの牽引が求められている現在、開発プロジェクトが次々と立ち上がっていますが、プロジェクトマネジメントは、本来私たちにとってほとんど馴染みのない役割であったため、どこかで体系的に学ぶ機会が必要でした。

健全なプロジェクト運営には、メンバー同士の信頼とデータの活用が重要です。課題、不具合の件数、毎週の進捗率などのデータに基づいた業務を遂行するようになりました。また、中電CTIのプロジェクト運営の強み・弱みを知っているアクセンチュアよりプロマネのノウハウを学べたことは貴重な経験でした。

半谷 布珠 様
株式会社中電シーティーアイ 技術本部
パッケージソリューションリージョン
設備・調達ソリューション部

中部電力パワーグリッド向けのシステム開発を行っております。その中でも工事管理領域に携わっており、要件決定のための提案やアプリケーション開発、関係各所との調整などを実施しております。

業務遂行に必要な、パッケージの基本操作やカスタマイズ方法を習得するために参加しました。

自身が担当するパッケージについてピンポイントで学ぶことができたため、すぐに中部電力パワーグリッド向けのPOCで活かすことができました。また、こうした塾に参加する中で、アクセンチュアの業務整理や資料作成などのコンサルティング業務も参考となりました。

渡邊 嘉英
アクセンチュア株式会社
素材・エネルギー本部

社長以下、会社一丸となって取り組まれたからこそ、短期間で大きな成果に繋がっていると思います。

変革の必然性の浸透と、成長への意欲醸成を個人レベルで実現することがこの改革の大きなポイントだと改めて感じています。

これからも、中電CTIさまがDX戦略推進の牽引役となるよう、アクセンチュアも共に改革に取り組みます。